らくちんファンド

追加型投信／内外／株式／ファンド・オブ・ファンズ

運用報告書（全体版）

第12期（決算日 2020 年 2 月 25 日）

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式／ファンド・オブ・ファンズ
信託期間	無期限
運用方針	投資家の方々の長期的な資産形成のお手伝いをさせていただくことを目的とし、複数のファンドに分散投資を行い、信託財産の成長を計ることを目標として運用を行います。
主要投資対象	主として有価証券に投資する投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②同一銘柄の投資信託証券への投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の 50%未満とします。ただし、約款又は規約等においてファンド・オブ・ファンズにのみ取得されることが定められている投資信託証券については制限を設けません。 ③外貨建資産への投資には制限を設けません。 ④株式への直接投資は行いません。 ⑤デリバティブの直接利用は行いません。
分配方針	毎決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案し決定します。（ただし、分配を行わないことがあります。）当ファンドは分配金再投資専用とします。

受益者の皆さまへ

平素は「らくちんファンド」に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、このたび第12期決算を行いましたので、当期の運用状況をまとめております。

当期間も信託財産の長期的な成長を図ることを目的とした運用を行って参りましたこと、合わせてご報告申し上げます。

今後も、皆さまの長期投資の充実のため、努めて参りますので、より一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

clover asset management

■お問合せ先
クローバー・アセットマネジメント株式会社
〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 3-4　京橋日英ビル 3 階
[ホームページ] https://www.clover-am.co.jp
[電話] 03-6262-3923 / [通話料無料ダイヤル] 0800-5000-968
[営業時間] 9:00～17:00（土日祝日・年末年始を除く）

運用担当者の紹介

らくちんファンドは、さまざまなジャンルの実業経験者と金融専門家が、それぞれの経験を活かしファンド運営を行っています。週一回の運用会議と月一回の投資政策委員会は、東京⇔ジュネーブのネット会議となります。グローバルなネットワークに基づいた独特の視点は、数ある国内ファンドの中でもユニークなものであると自負しております。

■代表取締役社長　運用部長

多根　幹雄

スイス、ジュネーブに 1999 年から 9 年間駐在し、グループ企業の資金運用を担当してきました。その間、多くのプライベートバンクやファミリーオフィスからの情報により、世界 18 カ国 100 を超えるファンドマネージャーを訪問。実際投資を行う中で、良いファンドを見極める選択眼を磨くことが出来ました。また当時築いたスイスでのネットワークが現在の運用に大いに役立っています。

また、大手のメガネ専門店チェーンの役員として実際の企業の盛衰も経験し、どんな時に組織が良くなり、また悪くなるかを身をもって体験しました。そこから、どんな企業やファンドにも旬や寿命があるというのが持論です。その為、常に新しいファンドを発掘し、旬のファンドに入れ替えを行うことで、長期で高いパフォーマンスを目指しています。

■専務取締役　運用担当

磯野　昌彦

さわかみ投資顧問株式会社（現さわかみ投信株式会社）のスタートアップメンバーとしての 2 年間の経験他、グループ企業の IR 担当（インベスター・リレーションズ、投資家とのコミュニケーションをする仕事です）を 10 年間にわたって担当。評価される企業側として、ファンドマネージャーやアナリストから厳しい質問を受ける立場でしたが、当時、「この人は手ごわい」「この人は勉強不足」などと、各人を個別評価することで、どんなファンドマネージャーやアナリストが優秀かを見極める力がつきました。今は逆の立場で厳しい目でファンドを評価しています。

■取締役　運用担当

峯岸　秀孝

かつて 1980 年代パリ在住の時から、実務と並行してグループ会社創業オーナーの秘書として、一緒に多くの国々を廻り様々な人と出会い、貴重な体験をすることが出来ました。また 2000 年に金融のメッカ、スイスのジュネーブに赴任後は、世界各国のファンドマネージャーを訪問、実際に投資にも携わってきました。そして 2008 年のリーマンショックによる急転直下、奈落の底への暗夜行路。地獄の顔もチラッと垣間見ました。今にして思えばこれら諸々の経験が、本物のファンドを見極めるのに随分と役立ってくれていると思います。

現在はグループ会社のジュネーブ・オフィスに在籍しており、ヨーロッパを中心とする新規ファンドの開拓を行うと共に、投資政策の会議にネットシステムを通じて積極的に参加。現地ヨーロッパで肌で感じる独自の視点を提供しています。

■チーフ・ストラテジスト

樋口　恭信

1959 年にジュネーブに渡り、現在もスイス在住。1982 年から野村證券の債券トレーダーとして東京、ロンドンで勤務した後、アジアファンドやボンドファンドの運用に従事。1996 年からスイスのピゲ銀行にて国際分散投資ファンド、ヘッジファンドのファンド・オブ・ファンドや、日本株式ファンド、インカム・ファンドなど幅広い商品の運用に従事し、その経験を銀行の資産運用部門でも活かしてきた金融のスペシャリスト。世界の流れが変化し、規制が強化される中で運用の仕方も変わってきている。変化が生まれるということは新たな機会が生まれるということ。それも楽しみです。

■運用部　アナリスト

韓　栄淑

2005 年よりみずほ証券香港にて、香港と台湾の機関投資家向けの日本株営業に従事。2007 年に東京に戻り、三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券にてエコノミストとして日本経済の分析に携わる。資産管理会社、マッキンゼーを経て、2018 年よりクローバー・アセットマネジメントにて運用部アナリストとして勤務。刻一刻と変化する世界経済の動きを、金融市場を通してより身近に感じられることがこの仕事の最大の魅力だと思います。これまでの経験をファンド運用に活かしていけたらうれしいです。

最近5期の運用実績

決　算　期	基準価額			ベンチマーク(参考指数等)		投資信託受益証券組入比率	投資証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率		期中騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
8期　2016年2月25日	12,740	0	△10.8	－	－	96.0	－	677
9期　2017年2月27日	14,900	0	17.0	－	－	89.4	－	809
10期　2018年2月26日	17,345	0	16.4	－	－	87.2	5.5	930
11期　2019年2月25日	16,445	0	△5.2	－	－	63.8	19.5	916
12期　2020年2月25日	18,456	0	12.2	－	－	50.7	18.7	1,054

(注1)基準価額の騰落率は分配金込みです。
(注2)当ファンドは、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当期中の基準価額等の推移

年　月　日	基準価額		ベンチマーク(参考指数等)		投資信託受益証券組入比率	投資証券組入比率
		騰落率		騰落率		
	円	%		%	%	%
(期 首)2019年 2月25日	16,445	－	－	－	63.8	19.5
2月末	16,531	0.5	－	－	45.2	25.9
3月末	16,603	1.0	－	－	42.6	38.3
4月末	17,021	3.5	－	－	43.4	38.1
5月末	16,412	△0.2	－	－	42.4	38.3
6月末	16,791	2.1	－	－	46.6	38.4
7月末	17,119	4.1	－	－	45.3	38.6
8月末	16,425	△0.1	－	－	45.8	38.4
9月末	16,925	2.9	－	－	46.2	38.1
10月末	17,348	5.5	－	－	47.8	37.7
11月末	17,770	8.1	－	－	46.2	37.7
12月末	18,244	10.9	－	－	47.4	37.8
1月末	18,210	10.7	－	－	47.0	38.2
(期 末)2020年 2月25日	18,456	12.2	－	－	50.7	18.7

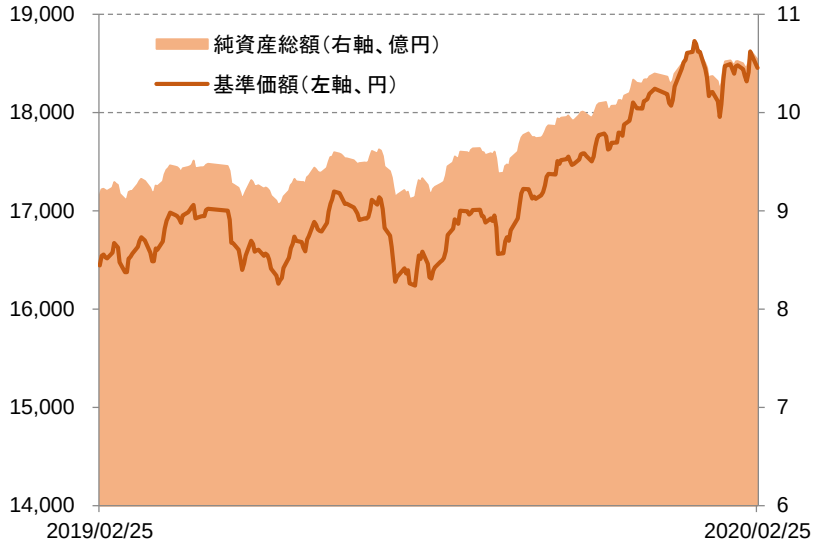
(注1)期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
(注2)当ファンドは、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

当期の運用状況と今後の運用方針

【期中の基準価額の推移】

当ファンドの第 12期(2019 年 2 月 26 日～2020 年 2 月 25 日)の年次運用状況をご報告いたします。

当期の基準価額は、2019 年 8 月 19 日に 16,241 円の最安値を付け、2020 年 1 月 21 日に 18,729 円の最高値を付けました。設定から当期末までの基準価額の騰落率は+84.6%、当期の騰落率は+12.2%となりました。



【基準価額のハイライト】

	基準価額	日付
安値	16,241 円	2019 年 8 月 19 日
高値	18,729 円	2020 年 1 月 21 日

【基準価額の主な変動要因】

世界各国の株式市場や為替の変動その他により、組み入れファンドの基準価額の変動があり、当ファンドの基準価額も変動します。日本の中小型株が 2019 年秋から年末に大きく伸長しましたが、期末に新型コロナウイルス感染拡大が日本株式市場に影響を与えて、比較的軽微ですが基準価額の下落の要因となりました。

変動要因についての詳細は後述(5 頁)の『投資環境』の通りです。

【当ファンドのベンチマークとの差異】

当ファンドの目的・特色に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。従って、当ファンドとベンチマークおよび参考指数との対比グラフは表示しておりません。

当ファンドの運用経過

期初は、3 月末の TMA 長期投資ファンドの償還に向けて、前期末より同ファンドを順次売却、代わってコムジェスト・グロースワールドを追加購入しました。6 月には、コムジェスト・ヨーロッパファンド、同エマージングファンドを、信託報酬の安い新ファンド、コムジェスト・ヨーロッパファンド 90、同エマージングファンド 95 に徐々に切り替えました。マーケットが大きく上昇し始めだした 10 月中旬、徐々にキャッシュ比率を高め始めました。また 10 月下旬には、SPDR ゴールド・シェア(金の ETF)を新規に組み入れました。11 月中旬には、2018 年の相場下落時に組み入れた TOPIX ETF を一部利益確定し、SPDR ゴールド・シェア(金の ETF)をさらに追加しました。2020 年 2 月中旬、コムジェスト・グロースワールド(外国籍ユーロ建て)を運用の利便性も考え、新規組成日本籍ファンド 「コムジェスト世界株式ファンド(円建て)」に順次入れ替えました。もともとキャッシュ比率を高め(14～15%強)にしていましたが、この入れ替えのタイミングで、売りと買いがあったために、さらにキャッシュ比率が高まった期間(20～32%強)が新型コロナウイルス禍によるマーケットの大きな下落の前半(2/20～3/4)と重なり、当ファンドの基準価額の下落は小さめになるという幸運もありました。

投資環境

期間中のマーケットの状況は大きく 2 つに分かれます。①2019 年 2 月下旬から 2020 年 1 月中旬までは、主に米中貿易協議の趨勢がマーケットに大きな影響を与えました。②2020 年 1 月下旬以降は、中国から端を発した新型コロナウイルスの世界への感染拡大と、それを抑え込もうとする各国政府の戦いの序章で、以降の世界経済の状況を大きく左右することとなりました。

①2020 年2月下旬から 4 月末までは、前年から続く米中貿易協議の先行き不安から解放され、両国間の着地点が見え始め、遅くとも夏前までには、最終合意にたどり着くのではないかと思わせる雰囲気でしたが、5 月はじめ米中貿易閣僚級協議で仕上げられた協定文が中国側からいきなり撤回されたのを機に、米中で追加関税の応酬となり、さらに米国は中国の通信大手ファーウェイの市場からの締め出し措置に出て、株式相場は急落します。

解決の糸口の模索が続きますが、6 月末の日本でのG20 で米中首脳会議が決まり、完全ではないにしても、解決に向けて動きだす期待感から株式相場は上昇しました。日本株式市場も、おおむね好調に推移し、G20 中の米中首脳会談の結果を受け、さらに7月に入って大きく上昇します。

8 月のマーケットは、追加緩和の見直しなど実質的な進展がないため、輸出依存度が低い米国経済には顕著な影響は見られませんでしたが、米中双方のジャブの応酬で株式相場は大きく乱高下しました。日本株式市場も、米国の状況と同様に、米国の利下げの可能性、また市場の不安定化による安全資産への逃避で円高傾向に向かうことが懸念され、市場参加者が少ない中、下落後の戻りが悪い状態が続きました。

事態が好転したのは、10 月上旬、開催が不安視されていた閣僚級の米中貿易交渉が始まり、初日終了後、トランプ大統領から「うまくいっている」とのコメントがあり、中国も「進展を望む」と発言、一転、融和ムードとなります。10 月中旬から株式市場はリスクオンの状況になり、年末まで NY ダウは最高値更新を続けます。

日本株式市場も NY と同じように上昇をはじめ、10 月中旬からは、もともと出遅れ感があったので急激な上昇となりました。

年明け以降、イラン問題による米ドルの下落（円高）等で大きな調整はありましたが、1 月 15 日には、米中貿易協議の第一段階の合意について米中が調印し、貿易問題については一旦のゴールとなりました。株式相場は、2 月上旬までは、上昇を続けます。

②前年末から、中国武漢で感染が広まっていた新型コロナウイルスは、当初は一地方の突発的な出来事と思われていましたが、1 月下旬には、日本、韓国、その他アジアの国が感染拡大の脅威にさらされる事態となり、2 月下旬から、世界の株式市場は下落を始めます。ウイルスの感染による災厄は過去にもありましたが、急速なグローバル化の中で、世界的な規模での拡大に向かい、株式市場の未曾有鵜の下落に向かう序章となりました。

今後の運用方針

急速に広まりはじめた新型コロナウイルスが各国経済に大きなダメージを与え、アジアから世界中へ瞬時に展開していきました。

当初中国に端を発して、韓国、日本、その他アジア諸国の問題でしたが、イタリア、スペイン、フランス英国などのヨーロッパの国々、当初抑え込みに自信を見せていた米国が、後に世界最大の感染者数、死者数となりました。こうした中、各国政府が厳格なロックダウンや、他国との交通の謝絶などを行い、これによる経済活動の停滞を支えるため大幅な金融緩和など、それぞれ思い切った対策を講じてウイルスによるダメージを少しでも食い止めようとしています。4 月中旬の段階では中国、韓国などは、すでにロックダウン解除を果たし、ヨーロッパでも大幅な感染拡大のスピードが鈍化する地域も出始めています。また、その間に国際協力による治療薬、ワクチンなどの開発も始まってきています。

金融市場は、総崩れ状態から、息を吹き返し始めてますが、私どものファンドに組み入れているファンドも 2、3 月の大きな下落から順調に回復して来ました。今後は保険的な（ある一定以上の相場の下落時に大きくプラスになる）機能を持つファンドや相場の影響を受けにくいファンドを組み入れることで、今後の極端な相場の下落にも対応できる準備をし、全体としては、キャッシュ比率を少なめにして積極的な運用を目指していきたいと考えています。

分配金

基準価額の水準、並びに市場環境等を考慮し、当期の分配については 0 円とさせていただきました。なお、収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、元本部分と同様に運用いたします。

■分配原資の内訳(1 万口当り)

項　　目		当　　期 （2019 年 2 月 26 日～2020 年 2 月 25 日）
当期分配金(税込み)		0 円
	当期の収益	－
	当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額		9,580 円

（注 1）当期の収益は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、
当期の収益以外は収益調整金および分配準備積立金です。
（注 2）円未満は切捨てして表示しております。

お知らせ

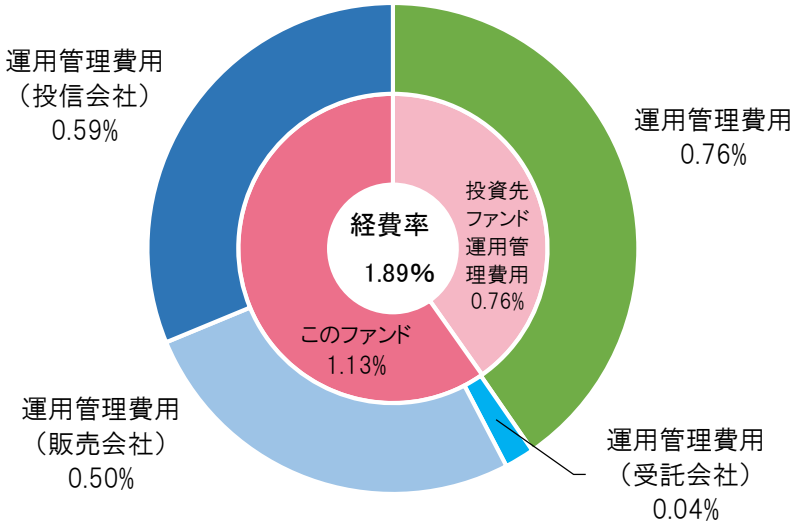
2019 年 2 月 26 日から 2020 年 2 月 25 日までの期間に実施した信託約款の変更はありません。

1万口当たりの費用明細

項目	当期 （2019 年 2 月 26 日～2020 年 2 月 25 日）		項目の概要
	金額(円)	比率(%)	
(a)信託報酬	168	0.979	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(88)	(0.513)	・委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(75)	(0.437)	・交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(6)	(0.035)	・運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b)売買委託手数料	1	0.006	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（投資信託受益証券）	(1)	(0.006)	・投資信託受益証券の売買に係る支払手数料
(c)保管費用等	23	0.134	(c)保管費用等＝期中の保管費用等÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(8)	(0.047)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(15)	(0.087)	・その他は、有価証券等の保管及び送金・移転等に要する費用
合計	192	1.119	
期中の平均基準価額は 17,157 円です。			

（注 1）期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注 2）消費税は報告日の税率を採用しております。
（注 3）金額は項目毎に円未満は四捨五入して表示しております。
（注 4）比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、項目毎に小数点以下第 4 位を四捨五入して表示しております。

【参考情報】
経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く）
当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1 口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は、1.89%です。



経費率（①+②）	1.89%
①このファンドの費用の比率	1.13%
②投資先ファンドの経費率	0.76%

・①の費用は、1 万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
・②の費用は、各月末の投資先ファンドの保有比率に当該投資先ファンドの運用管理比率を乗じて算出した概算です。
・各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
・各比率は、年率換算した値です。小数点以下第 3 位を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。
・投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券・投資証券です。
・①の費用と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。
・上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。
・投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

期中の売買及び取引の状況

投資信託受益証券　　（ 2019年2月26日から2020年2月25日まで ）

	買付		売付	
	単位数又は口数	金額	単位数又は口数	金額
国内	千口	千円	千口	千円
TOPIX連動型投信	11.7	20,633	11.37	19,993
			(−)	(−)
TMAファンド	−	−	77,930.316	172,000
			(9,811.783)	(22,247)
コムジェスト・ヨーロッパ	−	−	88,057.736	193,999
			(4,500.806)	(10,097)
コムジェスト・ヨーロッパ90	214,477.828	222,590	−	−
			(−)	(−)
コムジェスト・エマージング95	20,045.509	18,500	−	−
			(−)	(−)
コムジェスト世界株式ファンド	16,500	16,500	−	−
			(−)	(−)
日本	千口	千日本・円	千口	千日本・円
SPDR　ゴールド・シェア	1.29	19,645	−	−
	(−)	(−)	(−)	(−)

投資証券　　（ 2019年2月26日から2020年2月25日まで ）

	買付		売付	
	単位数又は口数	金額	単位数又は口数	金額
ユーロ(アイルランド)	千口	千ユーロ	千口	千ユーロ
コムジェスト・グロース・ワールドEUR Ⅰ Acc	49.608859	1,340	51.924252	1,700
	(−)	(−)	(−)	(−)

（注 1）金額は受渡し代金です。
（注 2）買付（ ）内は分割割当、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。
（注 3）売付（ ）内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。
（注 4）金額の単位未満は切捨てして表示しております。

利害関係人との取引状況

当期における利害関係人との取引はありません。
（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第 11 条第 1 項に規定される利害関係人です。

第二種金融商品取引業商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

当期における委託会社の自己取引はありません。

自社による当ファンドの設定・解約状況

該当事項はありません。

組入資産の明細

国内投資信託受益証券　　2020年2月25日現在

銘柄	当期末		
	単位数	評価額	比率
	千口	千円	%
さわかみファンド	8,389.857	20,957	2.0
TOPIX連動型投信	32.58	54,636	5.2
SBI中小型割安ジェイリバイブ	3.85	126,060	12.0
コムジェスト・ヨーロッパ90	214,477.828	265,437	25.2
コムジェスト・エマージング95	20,045.509	20,432	1.9
ひふみ投信	1,596.894	7,621	0.7
コムジェスト世界株式ファンド	16,500	16,711	1.6
合計　金　額	261,046.518	511,856	48.6
銘柄数 <比率>	7 銘柄 <48.6%>		

(注 1)合計欄の＜＞内は、純資産総額に対する評価額の比率です。
(注 2)評価額の単位未満は切捨てして表示しております。
(注 3)比率は項目毎に小数点以下第 2 位を四捨五入して表示しております。

外国投資信託受益証券　　2020年2月25日現在

銘柄	当期末			
	単位数	評価額		比率
		外貨建金額	邦貨換算金額	
	千口	千日本・円	千円	%
(日本)				
SPDR Gold Shares	1.29	22,458	22,458	2.1
日本・円通貨計　金　額	1.29	22,458	22,458	2.1
銘柄数 <比率>	1 銘柄 <2.1%>			
合計　金　額	1.29	－	22,458	2.1
銘柄数 <比率>	1 銘柄 <2.1%>			

外国投資証券　　2020年2月25日現在

銘柄	当期末			
	単位数	評価額		比率
		外貨建金額	邦貨換算金額	
	千口	千ユーロ	千円	%
ユーロ (アイルランド)				
Comgest Growth World EUR I Acc	50.444429	1,638	197,213	18.7
国小計　金　額	50.444429	1,638	197,213	18.7
銘柄数 <比率>	1 銘柄 <18.7%>			
ユーロ通貨計　金　額	50.444429	1,638	197,213	18.7
銘柄数 <比率>	1 銘柄 <18.7%>			
合計　金　額	50.444429	－	197,213	18.7
銘柄数 <比率>	1 銘柄 <18.7%>			

(注 1)邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。
　なお、2 月 25 日における邦貨換算レートは、1 日本・円＝1.00 円、1 アメリカ・ドル＝110.91 円、1 ユーロ＝120.33 円です。
(注 2)＜ ＞は純資産総額に対する各国別投資信託受益証券、投資証券評価額の比率です。
(注 3)評価額の単位未満は切捨てして表示しております。
(注 4)比率は項目毎に小数点以下第 2 位を四捨五入して表示しております。

投資信託財産の構成

2020年2月25日現在

項　　目	当　期　末	
	評　価　額	比　率
	千円	%
投資信託受益証券	534,315	50.5
投資証券	197,213	18.6
コール・ローン等、その他	326,309	30.9
投資信託財産総額	1,057,838	100.0

（注 1）評価額の単位未満は切捨てして表示しております。
（注 2）外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです
　　なお、2 月 25 日における邦貨換算レートは、1 日本・円＝1.00 円、1 アメリカ・ドル＝110.91 円、1 ユーロ＝120.33 円です
（注 3）当期末における外貨建資産(424,233 千円)の投資信託財産総額(1,057,838 千円)に対する比率は、40.1%です。
（注 4）比率は項目毎に小数点以下第 2 位を四捨五入して表示しております。

資産、負債、元本及び基準価額の状況

2020年2月25日現在

項　　目	当　期　末
(A) 資産	1,160,092,088円
コール・ローン等	224,028,629
投資信託受益証券　（評価額）	534,315,815
投資証券　（評価額）	197,213,589
未収入金	204,534,055
(B) 負債	106,011,936
未払金	102,280,500
未払解約金	86,055
未払信託報酬	2,585,996
その他未払費用	1,059,385
(C) 純資産総額(A－B)	1,054,080,152
元本	571,127,340
次期繰越損益金	482,952,812
(D) 受益権総口数	571,127,340口
1万口当り基準価額(C／D)	18,456円

（注）	期首元本額	571,127,340 円
	期中追加設定元本額	30,650,977 円
	期中一部解約元本額	16,937,194 円

損益の状況

当期　自 2019年2月26日　至 2020年2月25日

項　　目	当　　期
(A)配当等収益	1,050,646円
受取配当金	1,073,892
受取利息	275
その他収益金	133,939
支払利息	△ 157,460
(B)有価証券売買損益	122,311,108
売買益	139,853,447
売買損	△ 17,542,339
(C)信託報酬等	△ 10,767,481
(D)当期損益金(A＋B＋C)	112,594,273
(E)前期繰越損益金	316,373,012
(F)追加信託差損益金	53,985,527
(配当等相当額)	(118,179,812)
(売買損益相当額)	(△ 64,194,285)
(G)合計(D＋E＋F)	482,952,812
次期繰越損益金(G)	482,952,812
追加信託差損益金	53,985,527
(配当等相当額)	(118,179,812)
(売買損益相当額)	(△ 64,194,285)
分配準備積立金	428,967,285

(注 1)　(B)有価証券売買損益は、期末の評価替えによるものを含みます。

(注 2)　(C)信託報酬等には、信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注 3)　(F)追加信託差損差益とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注 4)　計算期間末における解約に伴う当期純利益金額分配後の配当等収益から費用を控除した額(959,122 円)、解約に伴う当期純利益金額分配後の有価証券売買等損益から費用を控除し、繰越欠損金を補填した額(64,158,678 円)、投資信託約款に規定される収益調整金(118,179,812 円)及び分配準備積立金(363,849,485 円)より分配対象額は 547,147,097 円(1 口当たり 0.958012 円)であります。分配は行っておりません。

組入ファンドの評価額と為替レートの動き

当期計算期間中（2019 年 2 月 26 日～2020 年 2 月 25 日）の組入ファンドの評価額と為替レートの推移は以下の通りです。

1. コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90（適格機関投資家限定）（円建て）

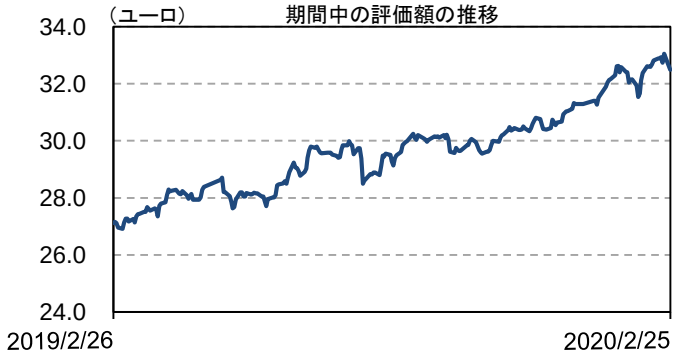
ｺﾑｼﾞｪｽﾄ・ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ﾌｧﾝﾄﾞ 90 の当期の騰落率＊は、+18.99%でした。

※2019年6月24日から組入を開始しました。当ファンドの基準価額の算定は、ｺﾑｼﾞｪｽﾄ・ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ﾌｧﾝﾄﾞ90の前営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、ｺﾑｼﾞｪｽﾄ・ﾖｰﾛｯﾊﾟ・ﾌｧﾝﾄﾞ90の騰落率は当ファンドの計算期間における前営業日のものを利用しています。

2. コムジェスト・グロースワールド EUR I Acc　クラス（適格機関投資家限定）（ユーロ建て）

ｺﾑｼﾞｪｽﾄ・ｸﾞﾛｰｽﾜｰﾙﾄﾞ EUR Ⅰ Acc の当期の騰落率＊は、+19.85%でした。

※当ファンドの基準価額の算定は、ｺﾑｼﾞｪｽﾄ・ｸﾞﾛｰｽﾜｰﾙﾄﾞ EUR I Accの前々営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、ｺﾑｼﾞｪｽﾄ・ｸﾞﾛｰｽﾜｰﾙﾄﾞEUR I Accの騰落率は当ファンドの計算期間における2営業日前のものを利用しています。



3. SBI中小型割安成長株ファンド　ジェイリバイブ（適格機関投資家専用）（円建て）

SBI 中小型割安成長株ﾌｧﾝﾄﾞ ｼﾞｪｲﾘﾊﾞｲﾌﾞの当期の騰落率＊は、+6.57%でした。

※当ファンドの基準価額の算定は、SBI中小型割安成長株ﾌｧﾝﾄﾞ ｼﾞｪｲﾘﾊﾞｲﾌﾞの前営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、、SBI中小型割安成長株ﾌｧﾝﾄﾞ ｼﾞｪｲﾘﾊﾞｲﾌﾞの騰落率は当ファンドの計算期間における前営業日のものを利用しています。

4. TOPIX連動型上場投資信託（円建て）

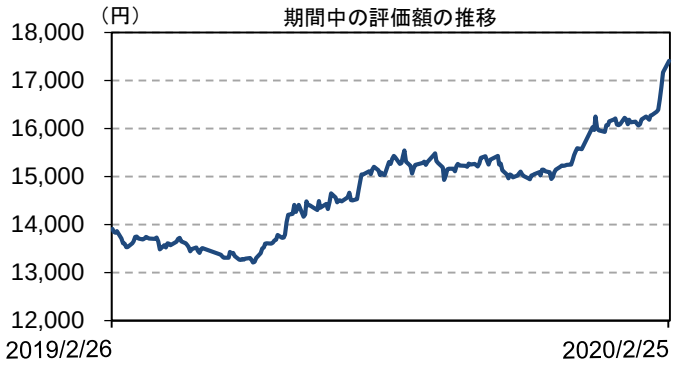
TOPIX 連動型上場投資信託の当期の騰落率＊は、+0.36%でした。

※当ファンドの基準価額の算定は、TOPIX連動型上場投資信託の当日の市場の終値を基に行う仕組みとなっておりますのでTOPIX連動型上場投資信託の騰落率は当ファンドの計算期間における当日の市場の終値を利用しています。

５． SPDRゴールドシェア（適格機関投資家用）（円建て）

SPDR ｺﾞｰﾙﾄﾞｼｪｱの当期の騰落率＊は、+25.16％でした。

※当ファンドの基準価額の算定は、SPDRｺﾞｰﾙﾄﾞｼｪｱの当日の市場の終値を基に行う仕組みとなっておりますので、SPDRｺﾞｰﾙﾄﾞｼｪｱの騰落率は当ファンドの計算期間における当日の市場の終値を利用しています。



6. さわかみファンド（円建て）

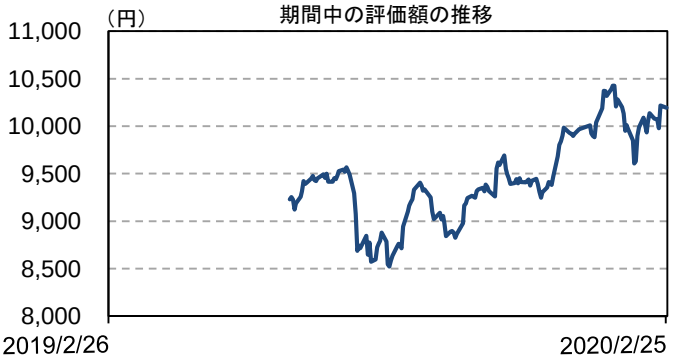
さわかみファンドの当期の騰落率＊は、+2.11％でした。

※当ファンドの基準価額の算定は、さわかみファンドの前営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますので、さわかみファンドの騰落率は当ファンドの計算期間における前営業日のものを利用しています。

7. コムジェスト・エマージングマーケッツ・ファンド95（適格機関投資家限定）（円建て）

ｺﾑｼﾞｪｽﾄ・ｴﾏｰｼﾞﾝｸﾞﾏｰｹｯﾂ・ﾌｧﾝﾄﾞ 95 の当期の騰落率＊は、+10.45％でした。

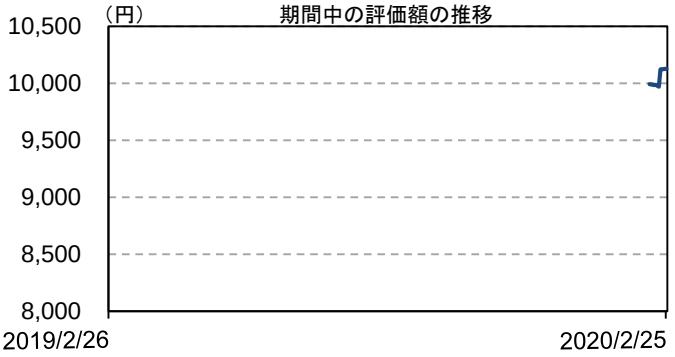
※2019年6月24日から組入を開始しました。当ファンドの基準価額の算定は、ｺﾑｼﾞｪｽﾄ・ｴﾏｰｼﾞﾝｸﾞﾏｰｹｯﾂ・ﾌｧﾝﾄﾞ95の前営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますのでｺﾑｼﾞｪｽﾄ・ｴﾏｰｼﾞﾝｸﾞﾏｰｹｯﾂ・ﾌｧﾝﾄﾞ95の騰落率は当ファンドの計算期間における前営業日のものを利用しています。



8. コムジェスト世界株式ファンド（適格機関投資家限定）（円建て）

ｺﾑｼﾞｪｽﾄ世界株式ﾌｧﾝﾄﾞの当期の騰落率＊は、+1.34％でした。

※2020年2月14日から組入を開始しました。当ファンドの基準価額の算定は、ｺﾑｼﾞｪｽﾄ世界株式ﾌｧﾝﾄﾞの前営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますのでｺﾑｼﾞｪｽﾄ世界株式ﾌｧﾝﾄﾞの騰落率は当ファンドの計算期間における前営業日のものを利用しています。



9. ひふみ投信（円建て）

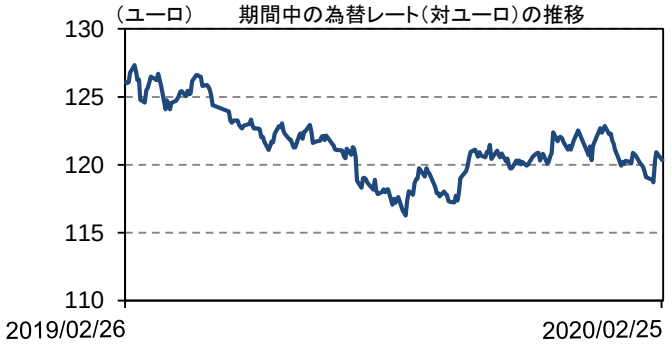
ひふみ投信の当期の騰落率＊は、+4.19%でした。

※当ファンドの基準価額の算定はひふみ投信の前営業日の評価額を基に行う仕組みとなっておりますのでひふみ投信の騰落率は当ファンドの計算期間における前営業日のものを利用しています。

為替レートの推移（ユーロ／円）

当期の対ユーロの為替レートは4.57%の円高（ファンドの基準価額にはマイナスの影響）＊でした。

※当ファンドの基準価額の算定は、当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを使用して行う仕組みとなっておりますので、為替レートの変化率は当ファンドの計算期間における当日の投資信託協会発表の評価用為替レートを利用しています。



組入ファンドの概要

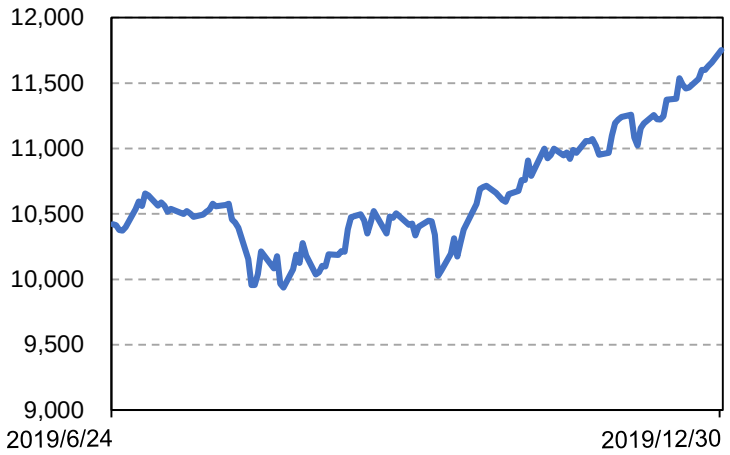
以下は当ファンドが投資対象としているファンドの現況です。貸借対照表の資産の部に計上された投資信託受益証券および投資証券はこれらのファンドです。各ファンドにおいて、現時点で入手できる直近の情報を記載しております。

1. コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90（適格機関投資家限定）

このファンドは 2019 年 6 月 24 日より組入を開始しました。

■基準価額の推移（2019 年 6 月 24 日～2019 年 12 月 30 日）

（円）



■1 万口当たりの費用の明細

（2019 年 1 月 5 日～2019 年 12 月 30 日）

項目	金額（円）	比率（%）
(a)信託報酬	101	0.976
（投信会社）	(64)	(0.618)
（販売会社）	(31)	(0.304)
（受託会社）	(6)	(0.054)
(b)売買委託手数料	2	0.015
（株式）	(2)	(0.015)
(c)有価証券取引税	1	0.012
（株式）	(1)	(0.012)
(d)その他費用	7	0.070
（保管費用）	(4)	(0.041)
（監査費用）	(3)	(0.029)
（その他）	(0)	(0.000)
合計	111	1.073
期中の平均基準価額は 10,311 円です。		

(注 1)期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(注 2)消費税は報告日の税率を採用しております。
(注 3)売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。
(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(注 4)金額は項目毎に円未満を四捨五入して表示しております。
(注 5)比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、項目毎に小数第3位未満は四捨五入して表示しております。

■組入資産の明細（2019 年 12 月 30 日現在）

銘柄名	当期末
	比率
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ　マザーファンド	99.5%
コール・ローン等、その他	0.5%
組入銘柄数	1 銘柄

(注1) ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ　マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（27,104,622 千円）の投資信託財産総額（27,231,114 千円）に対する比率は 99.5%です。
(注 2)外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

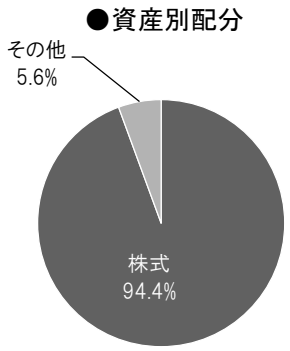
1 米ドル＝109.56 円	1 ユーロ＝122.54 円	1 ポンド＝143.48 円
1 スイスフラン＝112.40 円	1 スウェーデンクローナ＝11.75 円	1 デンマーククローネ＝16.40 円

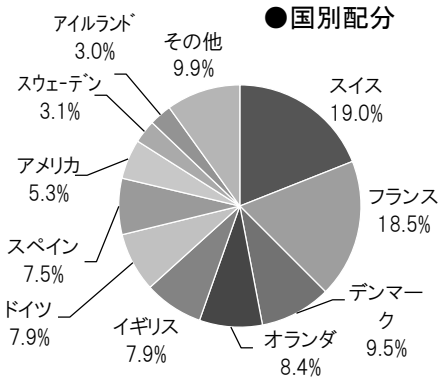
■組入上位 10 銘柄(2019 年 12 月 30 日現在)

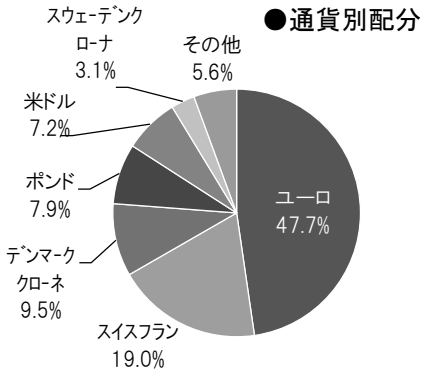
	銘柄名	MSCI 業種分類	通 貨	国(地域)	比率(%)
1	ROCHE HOLDING AG-GENUSSCHEIN	ヘルスケア	ｽｲｽﾌﾗﾝ	スイス	4.4
2	NOVO NORDISK A/S-B	ヘルスケア	ﾃﾞﾝﾏｰｸｸﾛｰﾈ	デンマーク	4.4
3	ASML HOLDING NV	情報技術	ユーロ	オランダ	4.4
4	ESSILORLUXOTTICA	一般消費財・サービス	ユーロ	フランス	4.4
5	STRAUMANN HOLDING AG-REG	ヘルスケア	ｽｲｽﾌﾗﾝ	スイス	4.1
6	INDITEX	一般消費財・サービス	ユーロ	スペイン	4.0
7	AMADEUS IT GROUP SA	情報技術	ユーロ	スペイン	3.5
8	HEINEKEN NV	生活必需品	ユーロ	オランダ	3.4
9	SAP SE	情報技術	ユーロ	ドイツ	3.4
10	DASSAULT SYSTEMES SA	情報技術	ユーロ	フランス	3.2
組入銘柄数		42 銘柄			

(注 1)比率は、純資産総額に対する割合です。

(注 2)国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。







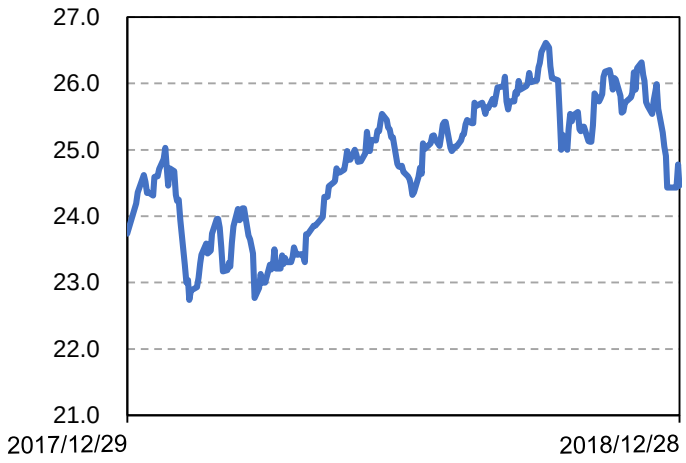
(注 1)比率は、純資産総額に対する割合です。

(注 2)国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

2. ｺﾑｼﾞｪｽﾄ･ｸﾞﾛｰｽ･ﾜｰﾙﾄﾞ EUR I Acc ｸﾗｽ（ｱｲﾙﾗﾝﾄﾞ籍ﾕｰﾛ建外国投資法人）

■基準価額の推移（2018 年 1 月 1 日～2018 年 12 月 31 日）

（ユーロ）



■費用明細

（2018 年 12 月 31 日現在）

販売手数料	信託財産留保金	信託報酬（年率）
なし	なし	0.85%

■組入資産の明細（2018 年 12 月 31 日現在）

銘柄名	通貨	国（地域）	比率（%）
コムジェスト・グロース・ワールド　マザーファンド	ユーロ	アイルランド	100.0
組入銘柄数	1 銘柄		

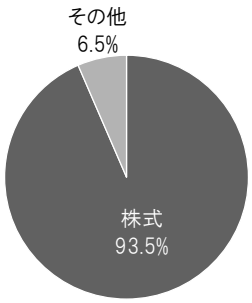
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

■組入上位 10 銘柄（2018 年 12 月 31 日現在）

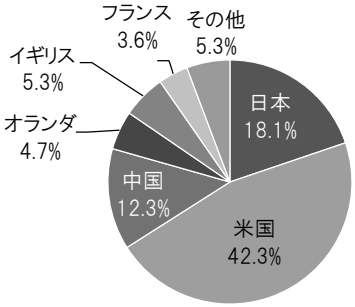
	銘柄名	MSCI 業種分類	通貨	国（地域）	比率（%）
1	Medtronic plc	Health Care	米ドル	米国	5.3
2	Unilever PLC	Consumer Staples	ポンド	イギリス	5.3
3	Johnson & Johnson	Health Care	米ドル	米国	4.9
4	Seven & I Holdings Co., Ltd.	Consumer Staples	円	日本	4.9
5	China Mobile Limited	Communication Services	香港ドル	中国	4.8
6	Heineken NV	Consumer Staples	ユーロ	オランダ	4.7
7	Eli Lilly and Company	Health Care	米ドル	米国	4.7
8	Becton, Dickinson and Company	Health Care	米ドル	米国	4.6
9	Walmart Inc.	Consumer Staples	米ドル	米国	4.4
10	Don Quijote Holdings Co.,Ltd.	Consumer Discretionary	円	日本	4.3
組入銘柄数		31 銘柄			

（注 1）比率は、純資産総額に対する割合です。
（注 2）国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

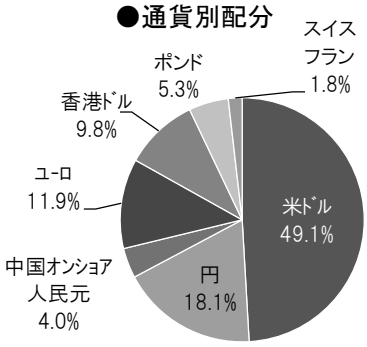
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分

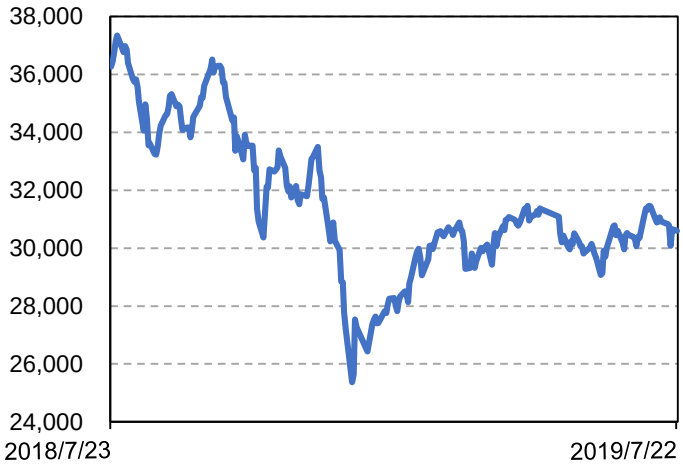


（注 1）比率は、純資産総額に対する割合です。
（注 2）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

３．SBI中小型割安成長株ファンド　ジェイリバイブ（適格機関投資家専用）

■基準価額の推移(2018 年 7 月 24 日～2019 年 7 月 22 日)

（円）



■1 口当たりの費用明細

（2018 年 7 月 24 日～2019 年 7 月 22 日）

項目	金額（円）	比率（%）
(a)信　託　報　酬	363	1.142
（　投　信　会　社　）	(343)	(1.077)
（　販　売　会　社　）	(3)	(0.011)
（　受　託　会　社　）	(17)	(0.054)
(b)売買委託手数料	30	0.094
（　株　　式　）	(30)	(0.094)
(c)その他費用	0	0.000
（その他）	(0)	(0.000)
合計	393	1.236
期中の平均基準価額は 31,826 円です。		

(注 1)期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(注 2)消費税は報告日の税率を採用しております。

(注 3)金額は項目毎に円未満は四捨五入して表示しております。

(注 4)売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。
(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数

(注 5)比率は 1 口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、項目毎に小数第3位未満は四捨五入して表示しております。

■組入資産の明細（2019 年 7 月 22 日現在）

銘柄名	当期末
	比率
中小型割安成長株・マザーファンド	100.0%
組入銘柄数	1 銘柄

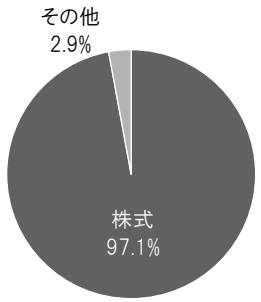
(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です

■組入上位 10 銘柄（2019 年 7 月 22 日現在）

	銘柄名	業種/種別　等	通　貨	国（地域）	比率（%）
1	プレステージ・インターナショナル	サービス業	円	日本	3.6
2	SHOEI	その他製品	円	日本	3.6
3	ラウンドワン	サービス業	円	日本	3.5
4	大塚商会	情報・通信業	円	日本	3.4
5	ニチハ	ガラス・土石製品	円	日本	3.4
6	ポールトゥウィン・ピットクルーホールディングス	情報・通信業	円	日本	3.1
7	ジェイエイシーリクルートメント	サービス業	円	日本	3.0
8	ヨコオ	電気機器	円	日本	3.0
9	プロトコーポレーション	情報・通信業	円	日本	2.9
10	くら寿司	小売業	円	日本	2.9
組入銘柄数		58 銘柄			

（注 1）比率は、純資産総額に対する割合です。
（注 2）国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

●資産別配分



●国別配分

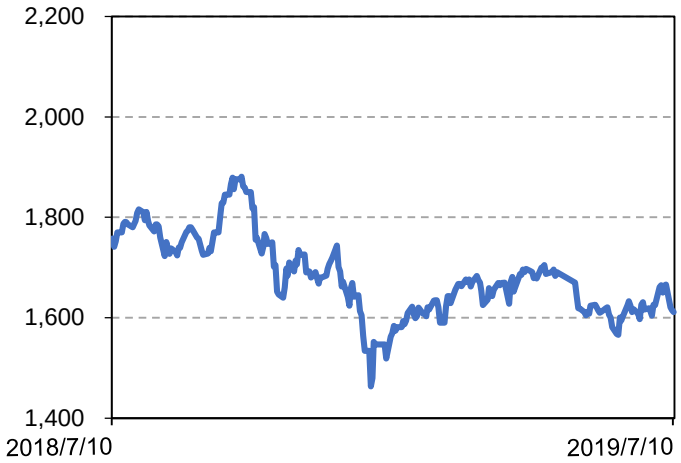
●通貨別配分

（注 1）基準価額の推移、組入上位 10 銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは 2019 年 7 月 22 日現在のものです。
（注 2）資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する割合です。
（注 3）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

４．TOPIX連動型上場投資信託

■基準価額の推移（2018 年 7 月 11 日～2019 年 7 月 10 日）

（円）



■費用明細

（2019 年 7 月 31 日現在）

販売手数料	信託財産留保金	信託報酬（年率）
0.088%	なし	0.121%

（注）期中の費用について、消費税のかかるものは消費税を含みます。

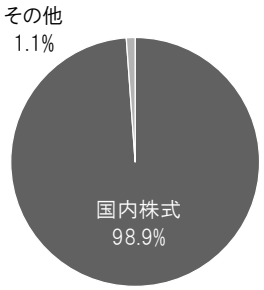
■組入上位 10 銘柄（2019 年 7 月 31 日現在）

	銘柄名	業種/種別　等	通　貨	国（地域）	比率（%）
1	トヨタ自動車	輸送用機器	円	日本	3.5
2	ソフトバンクグループ	情報・通信業	円	日本	1.9
3	ソニー	電気機器	円	日本	1.8
4	三菱 UFJ フィナンシャル・グループ	銀行業	円	日本	1.6
5	日本電信電話	情報・通信業	円	日本	1.5
6	武田薬品工業	医薬品	円	日本	1.4
7	キーエンス	電気機器	円	日本	1.4
8	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	円	日本	1.2
9	リクルートホールディングス	サービス業	円	日本	1.1
10	KDDI	情報・通信業	円	日本	1.0
組入銘柄数		2140 銘柄			

（注 1）比率は、純資産総額に対する割合です。

（注 2）国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

●資産別配分



●国別配分

●通貨別配分

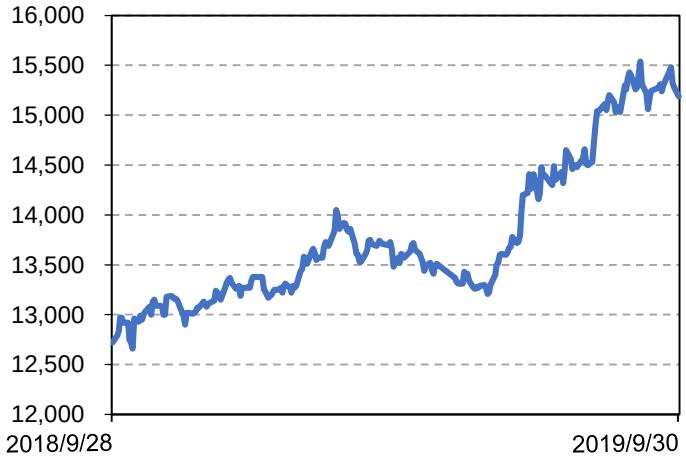
（注 1）比率は、純資産総額に対する割合です。

（注 2）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

５．SPDRゴールド・シェア

■基準価額の推移（2018 年 9 月 29 日～2019 年 9 月 30 日）

（円）



■費用明細

（2019 年 9 月 30 日現在）

販売手数料	信託財産留保金	信託報酬（年率）
0.088%	なし	0.40%

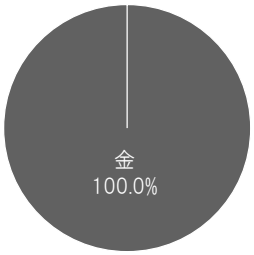
（注）期中の費用について、消費税のかかるものは消費税を含みます。

■組入資産の明細（2019 年 9 月 30 日現在）

銘柄名	当期末
	比率
金	100.0%
組入銘柄数	1 銘柄

(注)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

●資産別配分



●国別配分

●通貨別配分

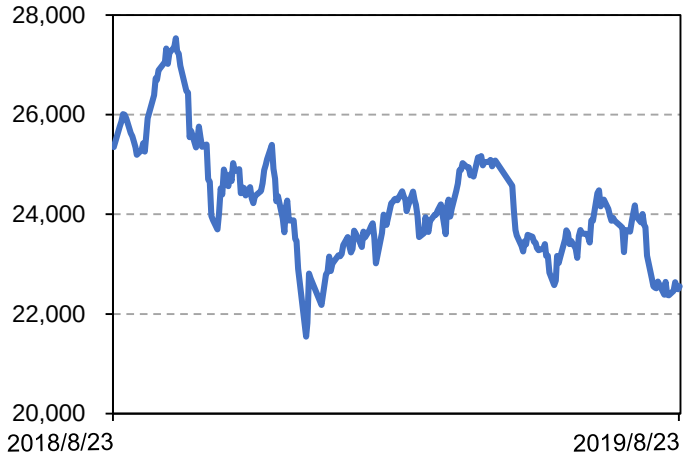
（注 1）比率は、純資産総額に対する割合です。

（注 2）国別配分につきましては発行国を表示しております。

６．さわかみファンド

■基準価額の推移（2018 年 8 月 24 日～2019 年 8 月 23 日）

（円）



■1 万口当たりの費用の明細

（2018 年 8 月 24 日～2019 年 8 月 23 日）

項目	金額（円）	比率（%）
（a）信託報酬	261	1.080
（投信会社）	(144)	(0.594)
（販売会社）	(91)	(0.378)
（受託会社）	(26)	(0.108)
（b）売買委託手数料	1	0.002
（株式）	(1)	(0.002)
（c）その他費用	0	0.000
（その他）	(0)	(0.000)
合計	262	1.083
期中の平均基準価額は 24,200 円です。		

(注 1)期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数

(c)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数

(注 2)金額は項目毎に円未満を四捨五入して表示しております。

(注 3)比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、項目毎に小数第3位未満は四捨五入して表示しております。

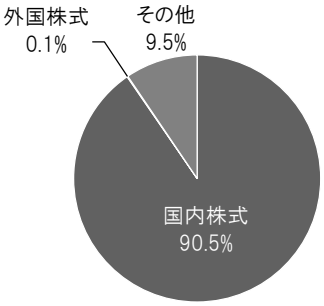
■組入上位 10 銘柄（2019 年 8 月 23 日現在）

	銘柄名	業種/種別　等	通　貨	国（地域）	比率（%）
1	日本電産	電気機器	円	日本	5.2
2	ブリヂストン	ゴム製品	円	日本	4.4
3	花王	化学	円	日本	4.2
4	ダイキン工業	機械	円	日本	4.0
5	テルモ	精密機器	円	日本	3.5
6	信越化学工業	化学	円	日本	3.3
7	浜松ホトニクス	電気機器	円	日本	3.1
8	TOTO	ガラス・土石製品	円	日本	2.9
9	トヨタ自動車	輸送用機器	円	日本	2.9
10	国際石油開発帝石	鉱業	円	日本	2.4
組入銘柄数		107 銘柄			

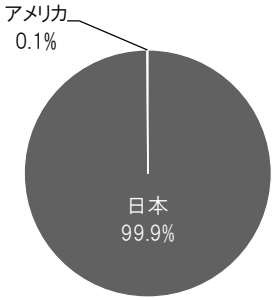
（注 1）比率は、純資産総額に対する評価金額の割合です。

（注 2）比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

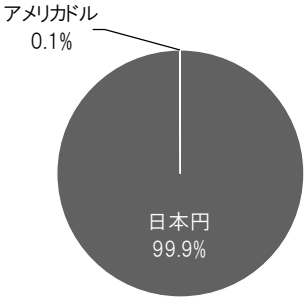
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



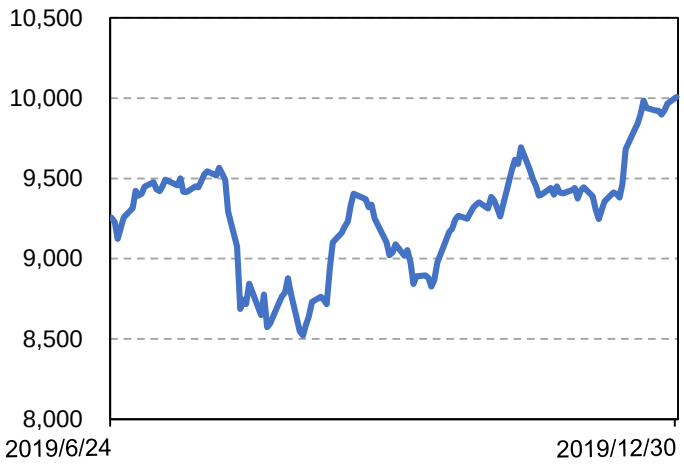
（注 1）資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価金額の割合です。
（注 2）その他は、現金・預金・その他資産（負債控除後）です。
（注 3）国別・通貨別配分の比率は、組入有価証券に対する評価金額の割合です。

7. コムジェスト・エマージングマーケッツ・ファンド９５（適格機関投資家限定）

このファンドは 2019 年 6 月 24 日より組入を開始しました。

■基準価額の推移（2019 年 6 月 24 日～2019 年 12 月 30 日）

（円）



■1 万口当たりの費用の明細

（2019 年 1 月 5 日～2019 年 12 月 30 日）

項目	金額（円）	比率（%）
（a）信託報酬	95	1.031
（投信会社）	(60)	(0.651)
（販売会社）	(30)	(0.325)
（受託会社）	(5)	(0.054)
（b）売買委託手数料	3	0.037
（株式）	(3)	(0.037)
（c）有価証券取引税	3	0.036
（株式）	(3)	(0.036)
（d）その他費用	15	0.159
（保管費用）	(13)	(0.136)
（監査費用）	(2)	(0.020)
（その他）	(0)	(0.003)
合計	116	1.263
期中の平均基準価額は 9,218 円です。		

(注 1)期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(注 2)消費税は報告日の税率を採用しております。
(注 3)売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。
(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(注 4)金額は項目毎に円未満を四捨五入して表示しております。
(注 5)比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、項目毎に小数第3位未満は四捨五入して表示しております。

■組入資産の明細（2019 年 12 月 30 日現在）

銘柄名	当期末
	比率
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケッツ　マザーファンド	99.5%
コール・ローン等、その他	0.5%
組入銘柄数	1 銘柄

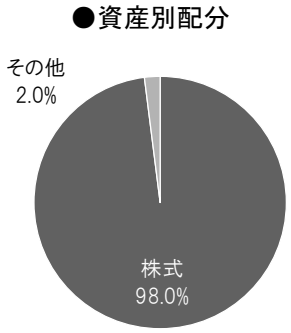
（注1）ニッポンコムジェスト・エマージングマーケッツ　マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産（17,867,562 千円）の投資信託財産総額（17,918,536 千円）に対する比率は 99.7%です。
(注 2)外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

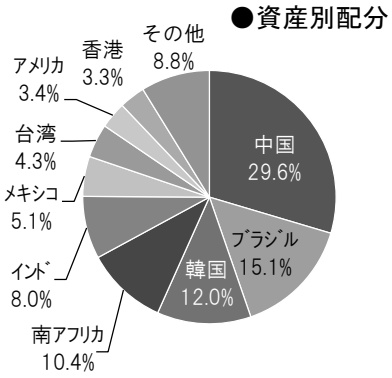
1オフショア人民元＝15.67 円	1米ドル＝109.56 円	1メキシコペソ＝5.82 円	1ブラジルレアル＝27.04 円
1ユーロ＝122.54 円	1トルコリラ＝18.42 円	1香港ドル＝14.07 円	1インドネシアルピア＝0.0079 円
1 韓国ウォン＝0.0946 円	1インディアンルピー＝1.54 円	1南アフリカランド＝7.84 円	

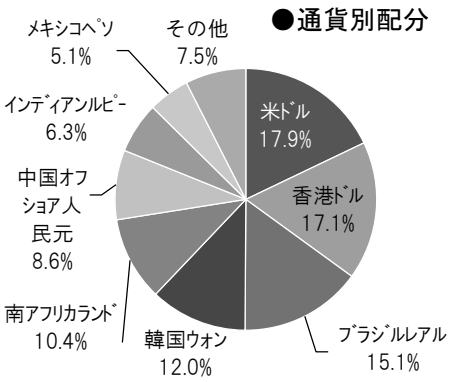
■組入上位 10 銘柄（2019 年 12 月 30 日現在）

	銘柄名	MSCI 業種分類	通 貨	国（地域）	比率（%）
1	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	金融	香港ﾄﾞﾙ	中国	6.8
2	SAMSUNG ELECTRONICS CO.,LTD.	情報技術	韓国ｳｫﾝ	韓国	4.4
3	NETEASE INC ADR	ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝｻｰﾋﾞｽ	米ﾄﾞﾙ	中国	4.4
4	BB SEGURIDADE PARTICIPACOES SA	金融	ﾌﾞﾗｼﾞﾙﾚｱﾙ	ブラジル	4.4
5	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	情報技術	米ﾄﾞﾙ	台湾	4.3
6	SANLAM LTD	金融	南ｱﾌﾘｶﾗﾝﾄﾞ	南アフリカ	3.6
7	COGNIZANT TECHNOLOGY SOLUTION A ORD	情報技術	米ﾄﾞﾙ	アメリカ	3.4
8	AIA GROUP LTD	金融	香港ﾄﾞﾙ	香港	3.3
9	INNER MONGOLIA YILI INDUSTRIAL GROUP CO.	生活必需品	中国ｵﾌｼｮｱ人民元	中国	3.2
10	FOMENTO ECONOMICO MEXICANO	生活必需品	ﾒｷｼｺﾍﾟｿ	メキシコ	3.2
組入銘柄数		42 銘柄			

（注 1）比率は、純資産総額に対する割合です。
（注 2）国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。







（注 1）比率は、純資産総額に対する割合です。
（注 2）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

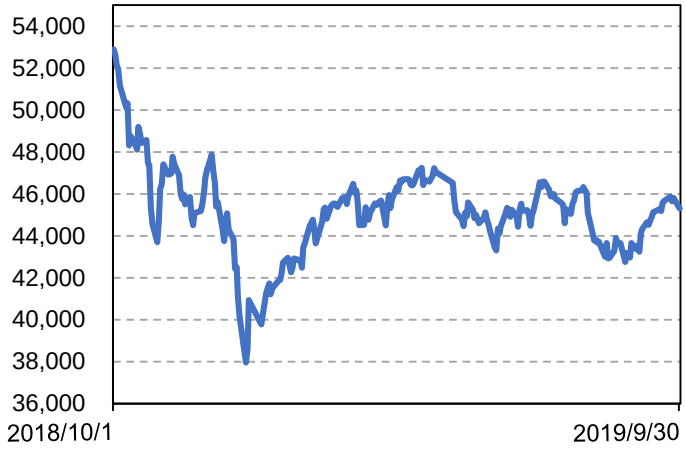
８. コムジェスト世界株式ファンド（適格機関投資家限定）

このファンドは 2020 年 2 月 13 日に設定され、2020 年 2 月 14 日より組入を開始しました。
初回決算を迎えておらず、直近の決算日情報がないため記載しておりません。

９．ひふみ投信

■基準価額の推移（2018 年 10 月 2 日～2019 年 9 月 30 日）

（円）



■1 万口当りの費用の明細

（2018 年 10 月 2 日～2019 年 9 月 30 日）

項　　目	金額（円）	比率（%）
(a)信託報酬	475	1.055
（投信会社）	(218)	(0.485)
（販売会社）	(218)	(0.485)
（受託会社）	(39)	(0.086)
(b)売買委託手数料	42	0.094
（株式）	(42)	(0.094)
(c)有価証券取引税	0	0.000
（株式）	(0)	(0.000)
(d)その他費用	1	0.003
（保管費用）	(1)	(0.002)
（監査費用）	(0)	(0.001)
（その他）	(0)	(0.000)
合計	518	1.152
期中の平均基準価額は 45,011 円です。		

(注 1)当期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(注 2)項目毎に円未満は四捨五入して表示しております。
(注 3)売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、ひふみ投信が組み入れているひふみ投信マザーファンドが支払った金額のうち、ひふみ投信に対応するものを含みます。
(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(注 4)比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたもので、項目毎に小数第3位未満は四捨五入して表示しております。

■組入資産の明細（2019 年 9 月 30 日現在）

銘柄名	当期末
	比率
ひふみ投信マザーファンド	100.7%
その他	-0.7%
組入銘柄数	1 銘柄

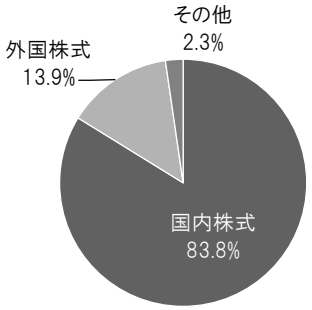
（注）比率はひふみ投信の純資産総額に対する割合です。資産の状況等によっては合計が 100%とならない場合があります。

■組入上位 10 銘柄（2019 年 9 月 30 日現在）

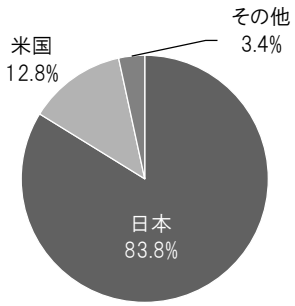
	銘柄名	業種/種別　等	通貨	国（地域）	比率（%）
1	協和エクシオ	建設業	円	日本	2.3
2	東京センチュリー	その他金融業	円	日本	2.2
3	ネットワンシステムズ	情報・通信業	円	日本	2.0
4	光通信	情報・通信業	円	日本	1.9
5	INTUIT INC	ソフトウェア・サービス	米ドル	米国	1.7
6	アマノ	機械	円	日本	1.7
7	東京エレクトロン	電気機器	円	日本	1.7
8	ショーボンドホールディングス	建設業	円	日本	1.6
9	シスメックス	電気機器	円	日本	1.6
10	VISA INC-CLASS A	ソフトウェア・サービス	米ドル	米国	1.5
組入銘柄数		245 銘柄			

（注 1）比率は、純資産総額に対する割合です。
（注 2）国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

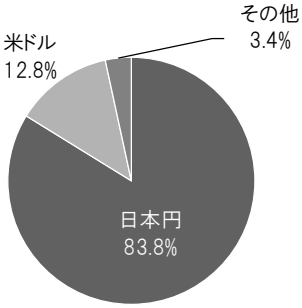
●資産別配分



●国別配分



●通貨別配分



（注 1）比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。資産の状況等によっては合計が 100%とならない場合があります。
（注 2）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
（注 3）国別配分は、発行国（地域）もしくは投資国（地域）を表示しております。